

防災・避難所機能に関すること

- ・災害時の避難所等として開放するスペースの提供範囲について記載してください。
- ・避難所として開放するスペース（現在、「地域防災計画」における避難所として屋体棟のほか、普通教室4室、保健室2室、特別教室5室を使用しています。（資料2））が、災害時に速やかに開設・運営が可能であることが分かるように、平常時の活用方法や設置を予定する什器、備品類について記載してください。
- ・避難者が避難所へ避難する際の進入経路、動線を記載してください。また、災害時の鍵の開閉等、区役所及び地域との連携方針について記載してください。
- ・地域や関係機関との連携に向けて、平常時から行う防災に関する取り組みについて記載してください。（市又は地域住民が実施する避難所開設・運営訓練時における連携や協力など。（資料2））
- ・その他、より高度な防災・避難所機能に関する提案をされる場合は、災害時にどのように貢献や協力ができるのかも含めて、具体的な内容等を記載してください。

【応募申込者チェック欄】

- 上記記載事項について確認のうえ、本様式を作成しました。
- 災害時の避難所スペースとして、現在指定しているスペースと同等の規模・教室数を確保している。

配置変更案を提案する場合は、避難所スペースの配置場所・面積について、記載してください。

- ・屋体棟 m²
- ・校舎〇棟〇階 〇〇教室 m²
- ・校舎〇棟〇階 〇〇教室 m²
- ・校舎〇棟〇階 〇〇教室 m²

- 開放する避難スペースについては、可動式で収納可能な備品・物品のみ設置としている。
- 災害救助用備蓄物資保管用スペース（30 m²（60 m³）以上）について、建物の2階以上の部分に配置している。

配置変更案を提案する場合は、災害救助用備蓄物資保管用スペースの配置場所・面積について、記載してください。

- ・校舎〇棟〇階 〇〇教室 m²

- 本物件校舎3階及び4階部分において、廊下及び避難所として開放するスペースが津波避難施設として、グラウンド部分においては一時避難場所として災害時には開放する。
- 市又は地域住民が実施する避難所開設・運営訓練時には避難所等スペースを開放するとともに、事業に支障のない範囲で協力する。

防災・避難所機能に関すること

- ・用紙の大きさはA3版とし、様式は変更しないものとします。
- ・必要に応じて枚数を増やして作成ください。
- ・使用言語は日本語とし、単位はメートル法を、また数字はアラビア数字を用いてください。